

### 仲間づくり推進コーナ

本号の井上さんの記事に登場する、日中岡山支部の中国語講座、元講師の何さんが新聞を再読することになりました。

それと、稲葉理事と小林事務局長がそれぞれ1部ずつ増やしました。



ヒツジの丸焼きをごちそうになりました



馬さんのご両親と・・・中央が近藤さん(内モンゴルで)

12月に月曜日の中国語を学ぶ仲間から、馬老師の両親が岡山へお出でになるので私達で何かしたいのだと聞かされています。ご両親には昨年の内モンゴル旅行でお世話になっていました。是非日本で楽しい思い出を作ってあげたい気持ちで一杯でした。

話が軌道に乗り、旅した仲間と両親だけでなく中国語を学ぶ各教室の皆さんとの交流だつたら賛成ですと老師から返事が返ってきました。

近ちゃん、交流会で得意の映像と会話で40分間を差し上げるのでお任せしますと、親友のSさんから・・・映像はともかく話は無理ですよ好きなように40分を使って下さい」と親友は押し付けてきます・・・

2月6日の立春を過ぎたばかり、まだまだ、底冷えのする日曜日、中国語講座の講師、馬小菲さんのご両親が岡山へ来られているのを機会に再会を果たすことができました。

私達は昨年の8月12日から5泊6日で、日中友好協会岡山支部の中国語講座の受講生と理事のメンバーで内モンゴルへ旅行、その中で馬さん一家に歓待されて、ほんとお世話になりました。今日、お2人のお元気な姿に内モンゴルでの旅を懐かしく思い出しました。

午前中は中国語講座の受講生により高島公民館の一室を借りての内モンゴル旅行の上映会、午後はマイクロボスで、瀬戸内市虫明の「こいの家」へドライブと懇親会をしました。

大草原や高原での雄大な自然を満喫した内モンゴルの旅で時間かけて到着した赤峰駅から内陸へ行った都市に馬さんの実家がありました。ご両親をはじめ、叔父さんや叔母さん、従兄弟など総勢20人も家族が私達を迎えてくださり、夜はホテルで懇親会をしました。中国料理とおいしいお酒を飲むのも「何回も乾杯をして

短時間でしたが、今回も温かい心情に触れる事が出来ました。

稲葉泰子

## 中国語講座の受講生を中心に交流会

### 馬さんのご両親を迎えて

そのお返しをと、風光明媚な瀬戸内に見える国民宿舎へ行きました。バスのなかでは、歌声が響きました。北国の春を馬さんのお母さんが歌い、私達は日本語で歌いました。四季の歌は私達が中国語で歌い、お母さんに披露しました。「こいの家」では、夕食までの間、お母さんはカラオケが好きなこともあって、歌を楽しむことにしました。その前にお風呂に入ろうと誰彼となく言いだして、私も馬さんの母さんと真田さんや西森さんと温泉に入りすっかり溶け込みました。

太田さんはギターを持参していて、歌と歌の間にギターを弾いてくださり、歌声に聞き入りました。

夕食では、竹内理事長の挨拶の後、中国語のできる人は中国語で、できない人は日本語で、お父さん、お母さんにお礼と挨拶をしました。私は岡山へ来られての印象をお伺いしました。気候が穏やかで環境が良い、それが街がとてもきれい」とのべられ、ほっとする気持ちになりました。

中国語講座受講生主催  
2月6日の交流会 高島公民館



馬さんの家族と記念撮影 昨年8月内モンゴルにて



読字 萩原田 親

No. 630

2011/2/25

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒110-0052 東京都千代田区千代田  
新大塚1-1-1 東武ビル3階

日中友好協会  
岡山支部  
〒710-8236  
岡山市東区3-8-30 511  
TEL:0861272-3010  
郵便番号1100  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒712-8911  
倉敷市連島中央1-8-1  
(宮地方)  
TEL/FAX:0860-446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



# 会員増勢へ一歩踏み出す

## 活発だった日中倉敷支部の第9回理事会

2月15日に開かれた理事会では前回の理事会から今日までに3名の新会員を迎えたことが報告され、増勢への一歩として確認され引き続き全役員が拡大に取り組むことを申し合わせました。

会議ではまず、1月26日から3日間取り組んだ中国残留邦人のくらしは「宗景正(むねかげ) ただし」写真展の活動が報告され、特に伊東倉敷市長も見に來られ帰国者に激励の言葉があつたこと、当日のアンケートでは参加者の63%の方がまだ日中倉敷支部の活動を知らないことなどが報告され、日中友好協会の活動が市民に広

く知られていないことが大きな反省点として出されました。また、今後の取り組みとして第5回中国問題文化講演会への成功に向けて参加者の確保や当日の運営、さらに文化講演会や映画会など今後継続して取り組んでいく行事についても運営の改善をしていくことをきめました。さらに漫画展の開催、中国留学生と日本青年との交流、春のお花見、中国旅行などについて活発に意見を交換、それぞれ役員が任務分担して次の役員会に提案することとなりました。

栗本泰治

### 日中友好協会

## 第36回中国料理教室へのお誘い

(献立)

- ① 蛋餃子 (タンチアオズ) (卵の皮のギョウザ)
- ② 蚝油生菜 (ハオヨウ ションツァイ) (レタスのオイスターソース和え)
- ③ その他

- \* 講師 黄 艳萍さん(ホアンイェンピン)
- \* 日時 3月6日(日曜日) 10時~12時30分
- \* 場所 高島公民館 (岡山市中区国府市場99-5)
- \* 会費 1,100円 (日中友好協会会員 1,000円)

{お申し込み先}

竹内けさゆき まで TEL:086-264-1414  
携帯 090-2869-3113

Eメール rizhong86@hotmail.co.jp

お申し込みは準備の都合がありますのでなるべくお早めにお問い合わせいたします。  
当日持参するもの エプロン、料理が残ったときのためにタッパーをご持参ください。

主催: 日中友好協会岡山支部

岡山市中区浜3-8-30-514  
TEL086-272-3010

### 日中友好協会倉敷支部

## 第5回中国問題文化講座

### 倉敷市民会館で31名が参加



2月19日、倉敷市民会館で、日中友好協会倉敷支部主催の第5回中国問題文化講座が開催され31名が参加しました。  
会は若い福田理事の司会で進行しました。山縣理事から最近の中国事

情の報告がありました。その中で、中国をみる視点として次の2点を話されました。一、一九一一年の辛亥革命から二〇〇〇年の歴史的視点。  
二、中国が世界でナンバーワンになっている経済成長率(9.8%)や米国債保有額など、グローバルな視点。  
国内・対外関係の現状を報告し、最後に、中国の小学校の教科書(語文)に「歓迎台湾小朋友」鄧小平翁翁植樹」と記載されていることを紹介されました。  
現在の中国を知る上で大切な基礎的な資料を提供されました。  
記念講演は、松田準一氏(日本共産党副委員長)が「尖閣諸島問題と日中関係」と題して行いました。松田氏は、党のこの

問題に対する見解をパネルなどの資料を用いて、歴史的にも国際法上も日本に領有権があることをわかりやすく説明されました。  
そして、領有にかかわる紛争の解決のために「は問題をすぐ政治問題にすることなく実務的な解決のルールに乗せる努力をし、あくまでもねばり強く、話し合いで、平和的に解決することが重要である」と強調されました。  
これに対して参加者から質問や意見が多く出され、時間が足りないほどでした。  
詳細については次号以降で紹介していきます。  
なお、講演会で、日中友好運動のあゆみ」が4部売られました。  
日中岡山支部 小林軍治

## うれしい再会

井上愛子

人との巡り合いは何と不思議なものと感じているところ。予て会った事のある何曉麗さん(以後何ちゃんと呼びます)に何年振りに再会したのです。

昨年12月に岡山民主会館で日中友好協会の望年会に出席し偶々の出会いに私はすっかり興奮してしまつて只々夢をみて居るようでした。

彼女は留学生として岡山大

学に来て、早卒業ししかも倉敷の会社に就職していたのです。  
2月3日は旧正月で中国では爆竹を打ち鳴らしてそれはそれは賑やかにお祝いをする風習があります。其処で2月6日の日曜日に来て貰ってくるのに行きました。

私が感心したのは行き帰りに車を通るので危ないと叱つてくれるのです、まるで私の孫と同じことを言つて居る、私との年齢差を考えると孫とおばあさん程です。成る程と納得しました。

帰宅して私が中国人民解放軍の病院勤務当時の楽しかった思い出をたくさん話したのです。何しろ彼女のお母さんが生まれる以前の事です。  
何ちゃんは私が天津当時の仲良しの楊玉蘭さんに瓜二つなのです、彼女達は血の繋がりは無いのですが重ね合わせて懐かしい限りで錯覚にとられました。之からも度々あつて楽しみたいものです。

次回の新聞送付作業は3月1日(火)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林和 内袈 竹内坪井